

# 安全のため必ず守ってください

ヒーター給湯モードのときは



**警告**



強制

発電リモコンの場合は、必ず熱源機の運転スイッチを OFF にする  
OFF にしない場合、高温の温水が出てやけどをするおそれがあります。



強制

温水のご使用中は、温水の温度低下に注意する  
ご使用状況や機器の状態等によっては、温水のご使用中に突然温度が下がることがあります。

こんなときは



**注意**



高温注意

断水時には給水・給湯栓を開けない  
発電ユニットより低い位置にある給湯栓は設定温度以上のお湯が出る場合があります。



高温注意

水抜き時タンク排水配管や排出される湯には触れない  
場合によっては熱いお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



高温注意

水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない  
場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。

## ■ リモコンと給湯暖房用熱源機の取扱説明書名称

	リモコン	給湯暖房用熱源機	チェック
リモコン A 【138-N*** シリーズ (138-N454 は除く)】	取扱説明書 リモコン操作編 給湯暖房機 ガスふろ給湯器	取扱説明書 機器本体編 潜熱回収型 給湯暖房機	<input type="checkbox"/>
リモコン B 【138-T*** シリーズ】	リモコン取扱説明書	給湯暖房機 取扱説明書	<input type="checkbox"/>
リモコン C 【138-R*** シリーズ】	取扱説明書 リモコンセット	取扱説明書 給湯暖房機	<input type="checkbox"/>
発電リモコン 【138-N454】	取扱説明書 リモコン操作編 後付構成用発電連携リモコン	_____	<input type="checkbox"/>

## ■ 本機は各種熱源機とセットでご使用できるように構成されています

お客さまがお買い上げになられたリモコンに、チェックを入れてご使用ください。



リモコン A



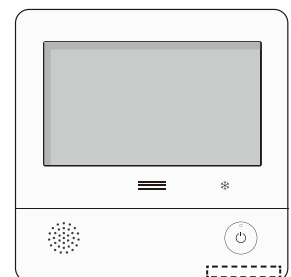
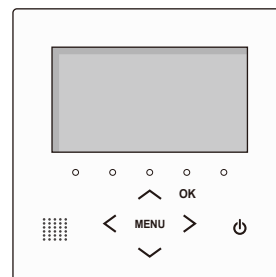
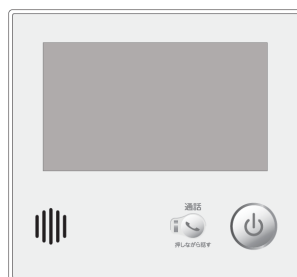
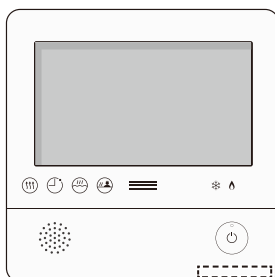
リモコン B



リモコン C



発電リモコン



# こんなときは

## ガスの供給が途絶えたときに温水を使いたいときは（ヒーター給湯モード）

ヒーター給湯モードを実施すると、発電ユニット内部の電気ヒーターを用いて貯湯タンクの水を昇温し、最高40℃の温水を使用することが出来ます。ただし、水温が低い場合等、環境条件によっては40℃に達しない場合があります。

### ■ヒーター給湯モードについて

- ヒーター給湯モードで温水の昇温完了するまでの目安時間、温水の温度、使用可能な目安量は下表のとおりです

季節	夏	春、秋	冬
昇温完了までの時間	約8時間	約17時間	約24時間
温水の温度	約40℃	約40℃	約33℃
使用可能な目安量	約80L	約50L	約50L

※設置環境により、上記の値と異なる場合があります。

### ●ヒーター給湯モードを使用するためには

- ・断水時は昇温は可能ですが温水の使用ができません。断水していないことを確認してください。
- ・ご使用前に放熱器排気口の目張りを実施ください（詳細は、「■放熱器排気口の目張り処理」を参照願います）。
- 実施しないと温水が貯まるのに時間が掛かったり、温水が貯まらないおそれがあります。
- ・使用可能な条件が成立していないとヒーター給湯モードを選択するボタンが表示されません。発電が停止しており、発電禁止設定、給湯スイッチがOFF（リモコンの場合は切）でも表示されないときは、貯湯タンクの洗浄（12ページ参照）を実施してください。

### ●ヒーター給湯（リモコンB・リモコンCはヒーター給湯モード）が表示されない場合は

- ・使用可能な条件が成立していないとヒーター給湯モードを選択するボタンが表示されません。以下の場合は貯湯タンクの洗浄（12ページ参照）を実施してください。
- ・リモコンA、リモコンB、リモコンCの場合  
発電が停止しており、発電禁止設定およびON/OFFスイッチがOFFでも表示されないとき
- ・発電リモコンの場合  
発電が停止しており、発電禁止設定でも表示されないとき

### ●その他ご注意ください

- ◆リモコンのスイッチを操作したとき
  - ・リモコンA、リモコンBの場合  
ヒーター給湯モード中にリモコンの「ON/OFF」スイッチをONにするとヒーター給湯モードが解除されます。
  - ・リモコンCの場合  
ヒーター給湯モード中はリモコンの「ON/OFF」スイッチを受付ません。
  - ・発電リモコンの場合  
必ず熱源機の運転スイッチを「OFF」にしてください。「OFF」にしない場合、高温の温水が出てやけどをするおそれがあります。
  - ・ヒーター給湯モード中に停電が発生した場合、停電復旧後には通常の状態に戻りますので、温水を使用する場合は再度ヒーター給湯モードを実施ください。
  - ・昇温完了前は温水の温度が低いことがあります。
  - ・昇温完了前に温水を使用すると、昇温完了までの時間が長くなります。
  - ・温水を使用開始した後は、可能な限り間隔を空けずにご使用ください。間隔が空くと温水の温度が下がります。
  - ・温水を使い切るとヒーター給湯モードは自動解除されます。＊続けて温水を使いたい場合は再度ヒーター給湯モードを実施してください。
  - ・ガスの供給が復帰し、ヒーター給湯モードを解除した直後に温水をご使用される場合、高温の温水が出湯されるおそれがありますのでご注意ください。

※ヒーター給湯モードにて昇温完了後に温水を使用した場合、設置環境によっては温水がなくなっただけから表示が出るまでに10分以上かかる場合があります。

# こんなときは

## ■ 放熱器排気口の目張り処理

- ・ご使用前に放熱器排気口の目張りを実施ください。実施しないと温水が貯まるのに時間が掛かったり、温水が貯まらないおそれがあります。
- ・ガスの供給が復旧し、通常の発電運転に戻る際は目張り（マグネットシート等）を必ずはずしてください。発電出力を抑制したり、発電を停止する場合（リモコンにエラーコード [03F07]、[95F00] を表示することがあります）があります。
- ・ご使用開始時にお渡しするマグネットシートにて目張りが可能です。お手元にマグネットシートがない場合は、ご家庭の物で目張りを実施下さい。

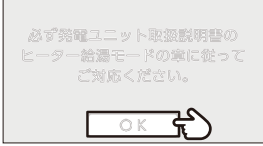
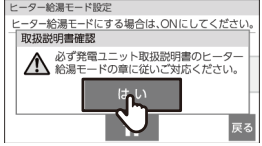
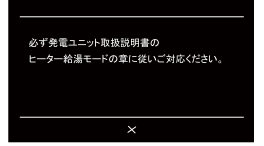
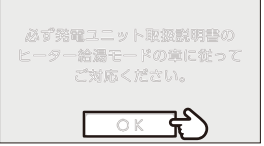
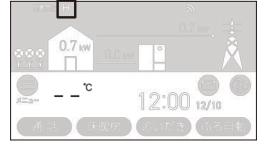





＜ヒーター給湯モードの操作手順＞

手順	リモコン A	リモコン B	リモコン C	発電リモコン
1.	発電禁止にする（6 ページ参照）			
2.	発電禁止表示を確認後リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、「ON/OFF」スイッチ部の LED ランプを消します）液晶画面部をタッチする	発電禁止表示を確認後リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、「ON/OFF」スイッチ部の LED ランプを消します）液晶画面部をタッチする	発電禁止表示を確認後リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にする（「ON/OFF」スイッチ部の LED ランプを消します）	発電禁止表示を確認後リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」、または液晶画面部をタッチする ※ 必ず熱源機の運転スイッチを「OFF」にしてください。「OFF」にしない場合、高温の温水が出てやけどをするおそれがあります。
3.	トップ画面から [メニュー] をタッチする 	トップ画面から [メニュー] をタッチする 	「MENU」スイッチを押す 	トップ画面から [メニュー] をタッチする 
4.	[発電] をタッチする 	[発電] をタッチする 	へまたは ✓ で [発電] を選択し > または 「OK」 を押す 	[発電] をタッチする 
5.	[ヒーター給湯] をタッチする 	[ヒーター給湯モード] をタッチする 	へまたは ✓ で [ヒーター給湯モード] を選択し > または 「OK」 を押す 	[ヒーター給湯] をタッチする 
	[ヒーター給湯] が表示されない場合 ※1	[ヒーター給湯モード] が表示されない場合 ※1	[ヒーター給湯モード] が表示されない場合 ※1	[ヒーター給湯] が表示されない場合 ※1
6.	放熱器排気口の目張りを実施する（詳細は、「■ 放熱器排気口の目張り処理」を参照願います）			
7.	[する] をタッチする 	[OFF] をタッチし、[ON] にする 	へを押し、「ON」を選択し「OK」を押す 	[する] をタッチする 


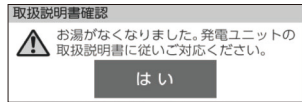
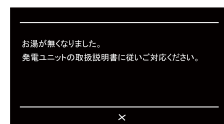

※1 「●ヒーター給湯（リモコン B・リモコン C はヒーター給湯モード）が表示されない場合は」（2 ページ参照）を行ってください。

# こんなときは


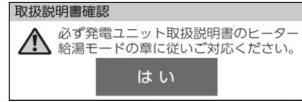
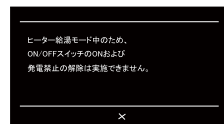

手順	リモコン A	リモコン B	リモコン C	発電リモコン
8.	放熱器排気口が目張りされていることを確認後 [OK] をタッチする 	放熱器排気口が目張りされていることを確認後 [はい] をタッチする 	放熱器排気口が目張りされていることを確認後 「OK」 を押す 	放熱器排気口が目張りされていることを確認後 [OK] をタッチする 
9.	ヒーター給湯モードマークが点滅を始めます。点灯に変わると昇温完了です。 	ヒーター給湯モードマークが点滅を始めます。点灯に変わると昇温完了です。 	ヒーター給湯モードマークが点滅を始めます。点灯に変わると昇温完了です。 	ヒーター給湯モードマークが点滅を始めます。点灯に変わると昇温完了です。 

- ・ 温水の使用時は、手で温度を確認してから使用してください。
- ・ 温水を使用開始した後は間隔をあけずにご使用ください。

## ■ ご使用中に以下の画面になった場合

リモコン A	リモコン B	リモコン C	発電リモコン
			

温水がなくなりました。続けて温水をご使用になる場合は、「ヒーター給湯モードの操作手順」の手順3から実施してください。温水をご使用にならない場合は、放熱器排気口の目張りを取り外します。

リモコン A	リモコン B	リモコン C	発電リモコン
			

以下の操作をするとこの画面になります。

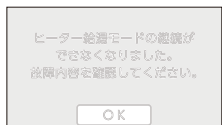
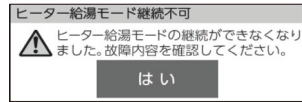
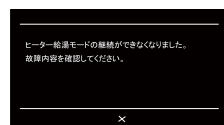
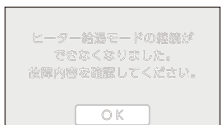
- ・ リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」にした（発電リモコンを除く）
- ・ メニュー画面より発電禁止を解除した

リモコン A、リモコン B、発電リモコンの場合

ヒーター給湯モードを再開したい場合は、[OK] または [はい] をタッチ後「ヒーター給湯モードの操作手順」を手順1から実施してください。温水をご使用にならない場合は、放熱器排気口の目張りを取り外します。

リモコン C の場合

「ヒーター給湯モードを解除する手順」を実施願います。

リモコン A	リモコン B	リモコン C	発電リモコン
			

以下の場合、この画面を表示しヒーター給湯モードが自動的に解除されます。

- ・ 故障が発生した場合（詳細は、「エラーコード表」（19ページ）を参照願います）
- ・ 故障対応中の場合
- ・ タンクリフレッシュが入った場合
- ・ 断水時にタンク排水バルブから、貯湯タンクの水を雑用水として使用した場合

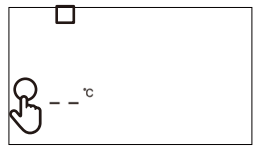


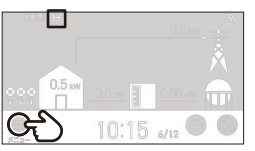
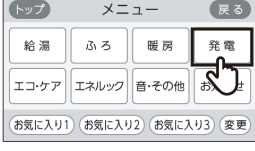

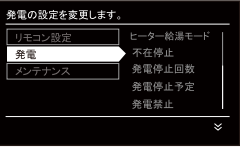
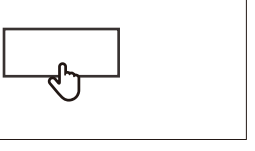
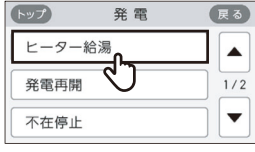

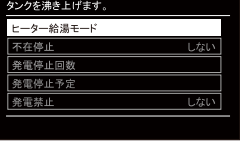
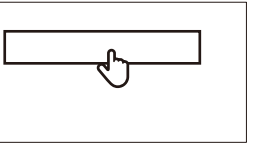
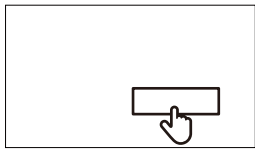
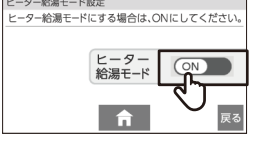
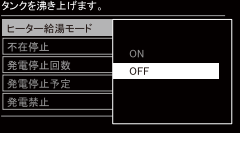
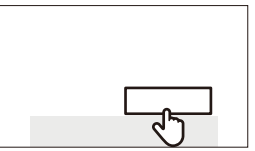
リモコン表示に従い [OK]、[はい]、「決定」をタッチ後、表示されているエラーの処置を行ってください。（詳細は、「エラー発生時の処置方法について」（17ページ）を参照願います）

# こんなときは

## ■ ヒーター給湯モードを終了する

### ● ヒーター給湯モードを解除する手順

ヒーター給湯モードの表示中にヒーター給湯モードを解除したい場合は、下記手順を実施してください。  
※ヒーター給湯モードの表示がされていないときでも、手順1は必ず実施願います。

手順	リモコン A	リモコン B	リモコン C	発電リモコン
1.	放熱器排気口の目張り（マグネットシート等）を取り外してください。発電出力を抑制したり、発電を停止したりする場合（リモコンにエラーコード [03F07]、[95F00] を表示することがあります）があります。目張りの取り外しを行わなかったことが原因による対応は、有償となります。			
2.	トップ画面から[メニュー]をタッチする 	トップ画面から[メニュー]をタッチする 	「MENU」スイッチを押す 	トップ画面から[メニュー]をタッチする 
3.	[発電]をタッチする 	[発電]をタッチする 	へまたは∨で[発電]を選択し>または「OK」を押す 	[発電]をタッチする 
4.	[ヒーター給湯]をタッチする 	[ヒーター給湯モード]をタッチする 	へまたは∨で[ヒーター給湯モード]を選択し>または「OK」を押す 	[ヒーター給湯]をタッチする 
5.	[しない]をタッチする 	[ON]をタッチし、[OFF]にする 	∨を押し、「OFF」を選択し「OK」を押す 	[しない]をタッチする 

## ■ ヒーター給湯モード終了後、発電運転を再開する

手順	リモコン A	リモコン B	リモコン C	発電リモコン
1.	放熱器排気口の目張りが取り外されていることを確認する ※発電出力を抑制したり、発電を停止する場合があります。目張りの取り外しを行わなかった場合の故障修理は、有償となります。			
2.	メニュー画面より発電禁止を解除する（8ページ参照）			

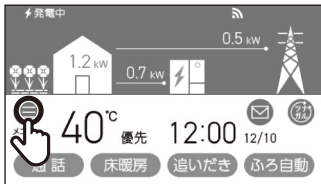
# 発電を止める

機器を保護するために発電停止の動作（「停止中」表示）を約3～5時間行ってから停止します。（時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります）停止動作中に起動操作を行った場合停止動作完了後、起動します。  
※お客さまの手动操作により、頻繁に起動操作・停止操作（発電禁止・不在停止）を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、停止操作のご使用は10回/年までを目安とし、不在停止操作は10日以上不在にされる場合にご使用ください。

## ■ 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいとき（発電禁止）

### リモコン A

1. トップ画面より[メニュー]をタッチする



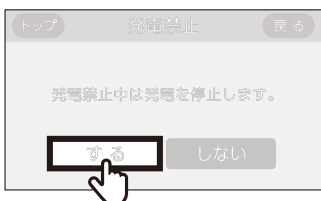
2. メニュー画面より[発電]をタッチする



3. 発電画面より[発電禁止]をタッチする  
表示されていない場合は、▼でページを送ってください。



4. 発電禁止画面より[する]をタッチする



5. 発電禁止画面より[はい]をタッチする



6. [設定しました。]と表示後手順4の画面に戻り、約3～5時間後に発電停止表示は消灯します。

### リモコン B

1. トップ画面より[メニュー]をタッチする



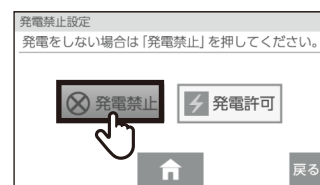
2. メニュー画面より[発電]をタッチする



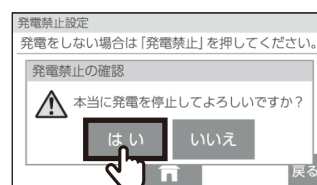
3. 発電メニュー画面より[発電禁止]をタッチする



4. 発電禁止設定画面より[発電禁止]をタッチする



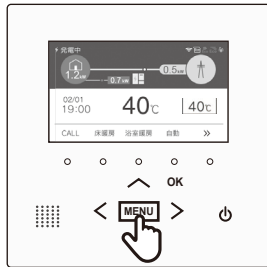
5. 発電禁止の確認画面より[はい]をタッチする  
リモコントップ画面の左上に[⊖停止中]と[⊙禁発電]が交互に表示され、約3～5時間後に[⊙禁発電]の表示になります。



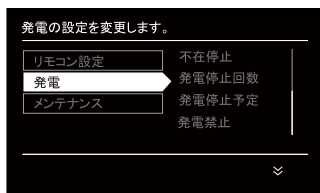
# 発電を止める

## リモコン C

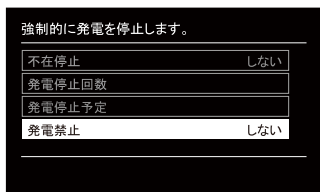
1. 「MENU」スイッチを押す



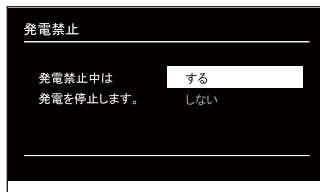
2. へまたは∨で [ 発電 ] を選択し > または「OK」を押す



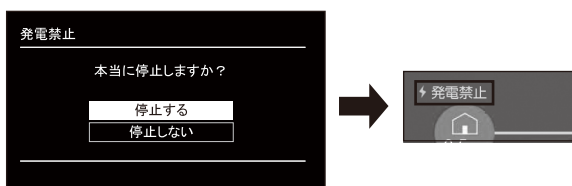
3. へまたは∨で [ 発電禁止 ] を選択し > または「OK」を押す



4. へを押し、「する」を選択して「OK」を押す

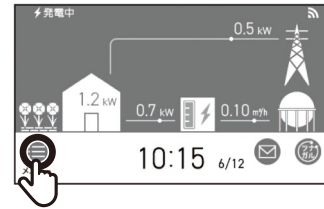


5. へを押し、「停止する」を選択して「OK」を押す  
リモコントップ画面に [ 発電禁止 ] と表示され、約3～5時間後に発電停止表示は消灯します。



## 発電リモコン

1. トップ画面より [ メニュー ] をタッチする



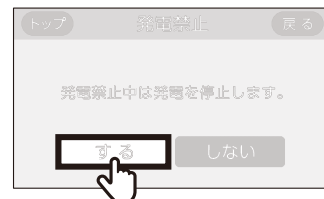
2. メニュー画面より [ 発電 ] をタッチする



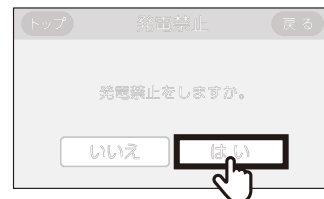
3. 発電画面より [ 発電禁止 ] をタッチする  
表示されていない場合は、▼でページを送ってください。



4. 発電禁止画面より [ する ] をタッチする



5. 発電禁止画面より [ はい ] をタッチする



6. [ 設定しました。 ] と表示後手順 4 の画面に戻り、約3～5時間後に発電停止表示は消灯します。

# 発電をする

※ 起動には約 4～5 時間かかります。(時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります)  
停止動作中に発電操作を行った場合は、停止動作 (約 3～5 時間) 完了後に起動します。

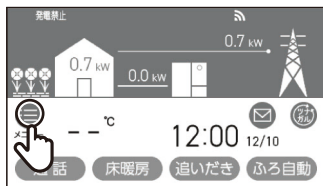
## ■ 発電禁止を解除し発電をする

「発電禁止」(6 ページ) で停止しています。以下操作で「発電禁止」を解除してください。

### リモコン A

発電禁止となっている場合、画面左上に「発電禁止」と表示されます。

1. トップ画面より [メニュー] をタッチする



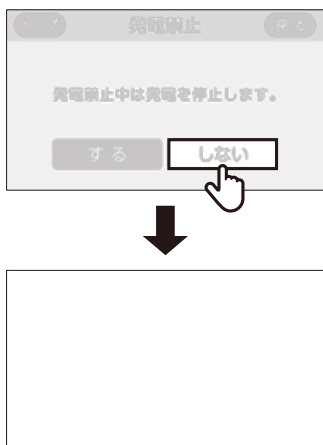
2. メニュー画面より [発電] をタッチする



3. 発電画面より [発電禁止] をタッチする  
表示されていない場合は、▼でページを送ってください。



4. 発電禁止画面より [しない] をタッチする  
発電禁止画面が [しない] に変わります。



※ トップ画面に、戻すには「トップ」を押してください

### リモコン B

発電禁止となっている場合、画面左上に「禁発電」と表示されます。

1. トップ画面より [メニュー] をタッチする



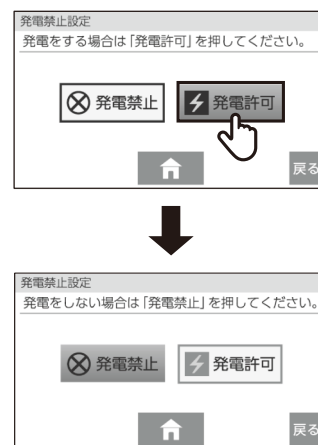
2. メニュー画面より [発電] をタッチする



3. 発電メニュー画面より [発電禁止] をタッチする



4. 発電禁止画面より [発電許可] をタッチする  
表示が [発電許可] に変わり、発電ユニットが起動をはじめます。

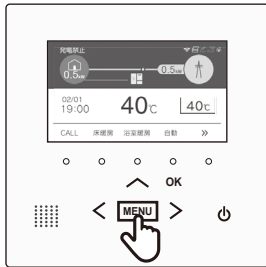


# 発電をする

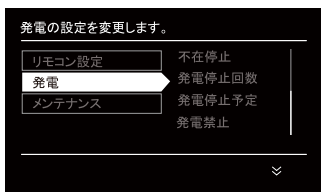
## リモコンC

発電禁止となっている場合、画面に「発電禁止」と表示されます。

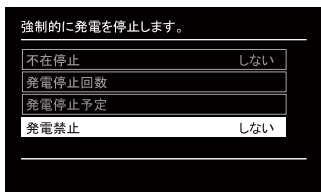
1. 「MENU」スイッチを押す



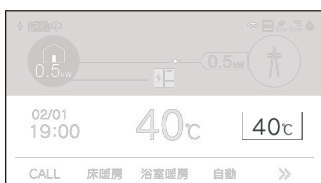
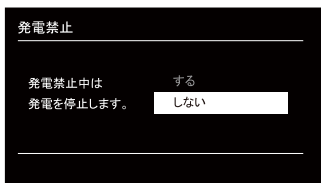
2. へまたは▽で [発電] を選択し > または「OK」を押す



3. へまたは▽で [発電禁止] を選択し > または「OK」を押す



4. ▽を押し、「しない」を選択して「OK」を押す  
トップ画面の発電状況表示部が [起動中] に変わり、発電ユニットが起動をはじめます。

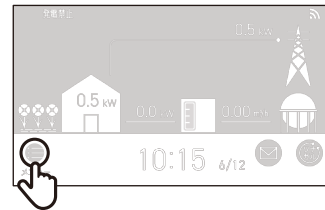


※発電ユニットが停止動作完了後でなかった場合は、表示は [停止中] と表示します。この場合は停止動作完了後に [起動中] に切り替わります。

## 発電リモコン

発電禁止となっている場合、画面左上に「発電禁止」と表示されます。

1. トップ画面より [メニュー] をタッチする



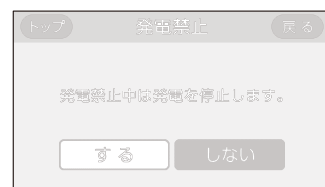
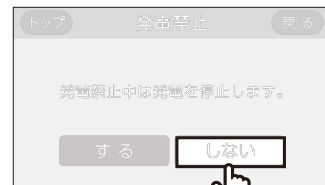
2. メニュー画面より [発電] をタッチする



3. 発電画面より [発電禁止] をタッチする  
表示されていない場合は、▼でページを送ってください。



4. 発電禁止画面より [しない] をタッチする  
発電禁止画面が [しない] に変わります。



※トップ画面に、戻すには「トップ」を押してください。

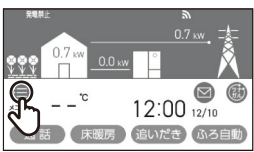



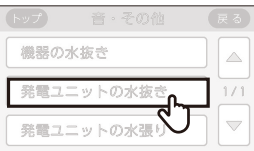

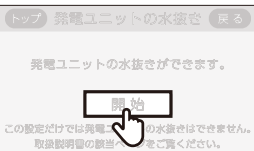
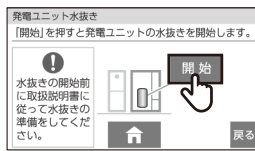
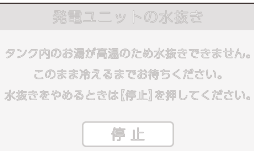
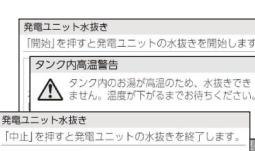

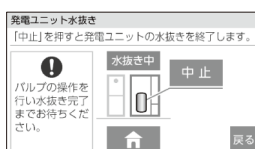
# 水抜きするとき

## 発電ユニットの水を抜く

水抜きをするときは、発電が停止している必要があります。  
 前日までに、発電ユニットを「発電禁止」による停止操作（6ページ参照）で停止させて、水抜きをしてください。

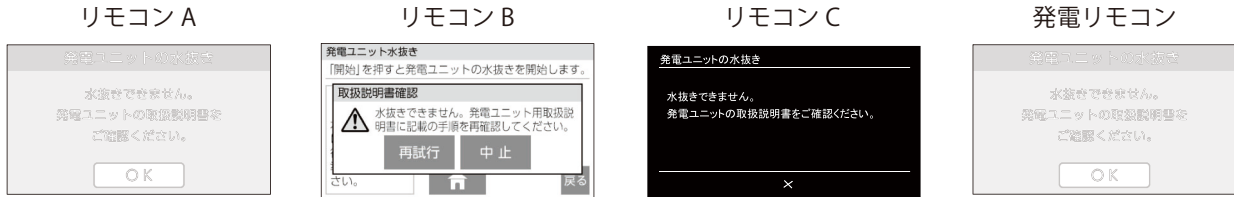
### ■ 水抜き手順

- 安全のため、この手順の前に「安全のため必ず守ってください」（1ページ）をお読みください。
- やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順1～6）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順7～10）を行ってください。
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、販売店または大阪ガスにご連絡ください。

手順	リモコン A	リモコン B
1.	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、 （「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す） 液晶画面部をタッチする	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、 （「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す） 液晶画面部をタッチする
2.	トップ画面より[メニュー]をタッチする 	トップ画面より[メニュー]をタッチする 
3.	メニュー画面より[音・その他]をタッチする 	メニュー画面より[メンテナンス]をタッチする 
4.	音・その他画面より[発電ユニットの水抜き]を タッチする 	メンテナンス画面より[発電ユニット水抜き]を タッチする 
5.	[開始]をタッチする 	[開始]をタッチする 
—	タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却 します。 タンク内水温が下がると 手順6に移行します。   ※ [停止] をタッチすると手順5に移行します。停止 させない場合は、[停止] をタッチしないでください。	タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却 します。 タンク内水温が下がると 手順6に移行します。   ※ [中止] をタッチすると手順5に移行します。停止 させない場合は、[中止] をタッチしないでください。
6.	タンク内水温が下がったので、「フロントR小 パネルの取り外し方法」 （16ページ）を参照し、 発電ユニットのフロント R小パネルを外した 後、手順7のバルブ操 作をする 	タンク内水温が下がったので、「フロントR小 パネルの取り外し方法」 （16ページ）を参照し、 発電ユニットのフロント R小パネルを外した 後、手順7のバルブ操 作をする 

# 水抜きするときには

- 水抜き手順で下記画面が表示される場合は、発電ユニットが停止状態ではありません。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。



手順	リモコン C	発電リモコン
1.	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、（「ON/OFF」スイッチを消灯させる）「MENU」スイッチを押す	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」、または液晶画面部をタッチする
2.	へまたは▽で [メンテナンス] を選択し > または「OK」を押す	トップ画面より [メニュー] をタッチする
3.	へまたは▽で [発電ユニットの水抜き] を選択し > または「OK」を押す	メニュー画面より [音・その他] をタッチする
4.	へを押す	音・その他画面より [発電ユニットの水抜き] をタッチする
5.	「OK」を押す	[開始] をタッチする
—	タンク内温度が低い場合でも約 10 分間は冷却します。 タンク内水温が下がると手順 6 に移行します。 ※ [中止] を選択し「OK」を押すと手順 3 に移行します。停止させない場合は、[OK] スイッチを押さないでください。	タンク内温度が低い場合でも約 10 分間は冷却します。 タンク内水温が下がると手順 6 に移行します。 ※ [停止] をタッチすると手順 5 に移行します。停止させない場合は、[停止] をタッチしないでください。
6.	タンク内水温が下がったので、「フロント R 小パネルの取り外し方法」(16 ページ) を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを外した後、手順 7 のバルブ操作をする	タンク内水温が下がったので、「フロント R 小パネルの取り外し方法」(16 ページ) を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを外した後、手順 7 のバルブ操作をする

# 貯水タンクの洗浄をする

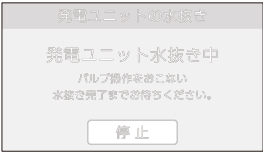
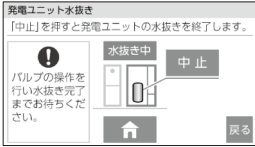
※この操作開始後水張り完了までは、熱源機を使用することはできません。

## 貯湯タンクの水抜き手順

※安全の為、水抜き操作の前に「安全のため必ず守ってください」（1ページ）を参照ください。

※やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順1～6）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順7～11）を行ってください。

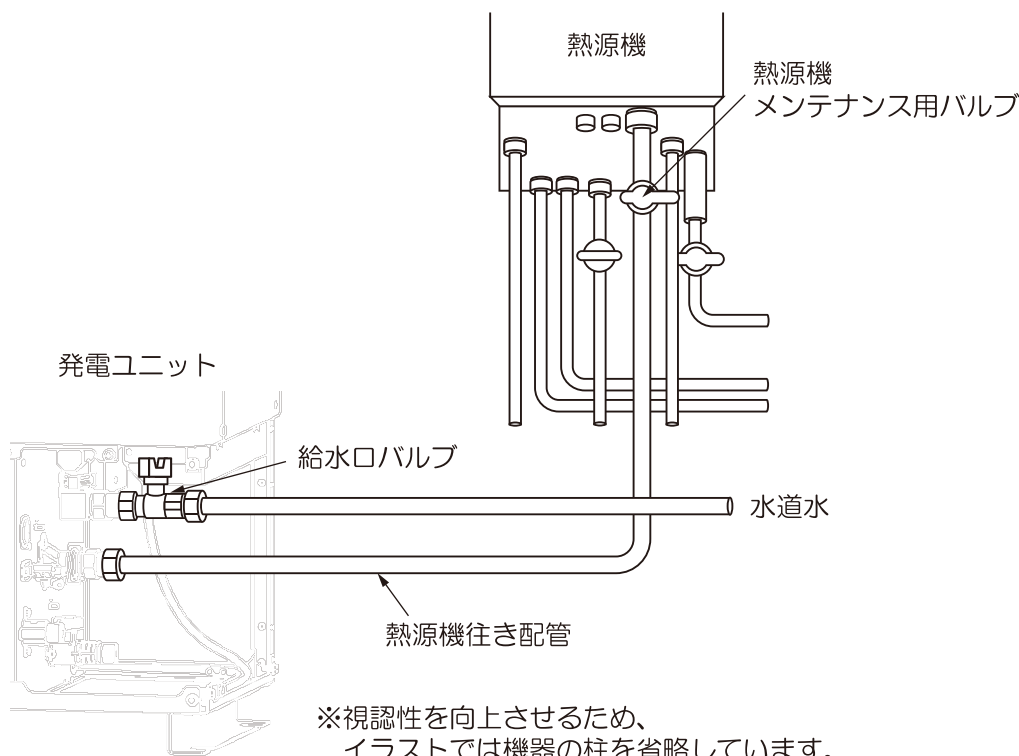
手順1～5は、10ページ参照してください。

手順	リモコン A	リモコン B
6.	<p>タンク内水温が下がったので、「フロント R 小パネルの取り外し方法」（16ページ）を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを外した後、手順7のバルブ操作をする</p> 	<p>タンク内水温が下がったので、「フロント R 小パネルの取り外し方法」（16ページ）を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを外した後、手順7のバルブ操作をする</p> 

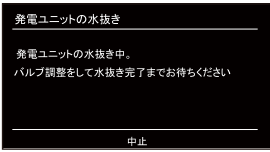
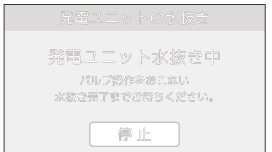
### 共通

#### 7. 下記のバルブの操作をする

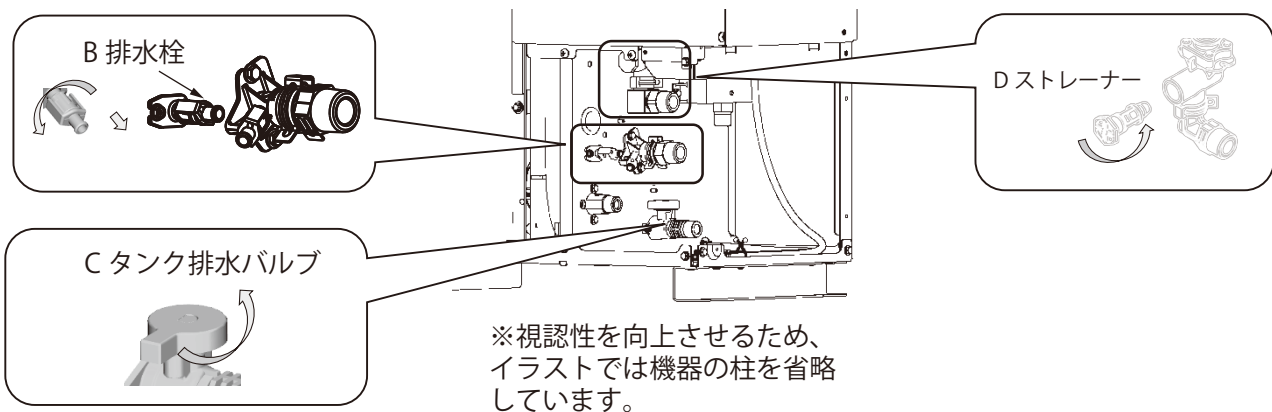
- ・給水口バルブを閉じます。
- ・熱源機行き配管途中の熱源機メンテナンス用バルブを閉じます。



# 貯水タンクの洗浄をする

手順	リモコン C	発電リモコン
6.	<p>タンク内水温が下がったので、「フロント R 小パネルの取り外し方法」(16 ページ) を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを外した後、手順 7 のバルブ操作をする</p> 	<p>タンク内水温が下がったので、「フロント R 小パネルの取り外し方法」(16 ページ) を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを外した後、手順 7 のバルブ操作をする</p> 



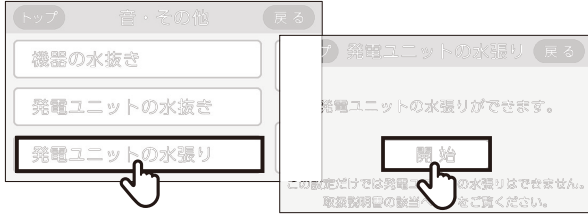
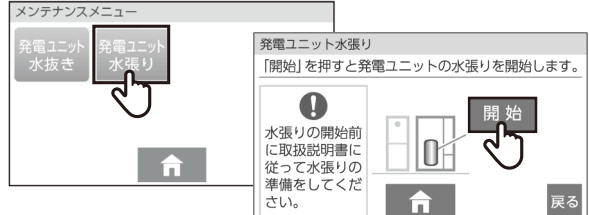
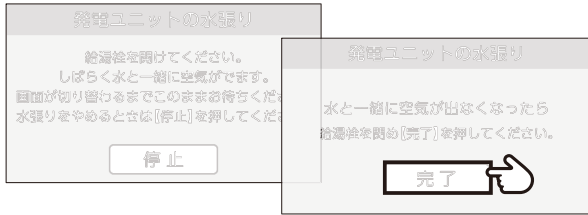

- C タンク排水バルブをゆっくりと開けます。


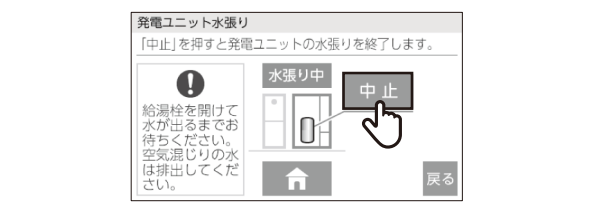


- リモコンの画面がトップ画面に移行したら、B 排水栓を反時計回りに回転させてから手前に軽く引いて開ける  
 ※60 分経過してもトップ画面に移行しない場合は、手順 6 の [ 停止 ], [ 中止 ], 「決定」のいずれか (上表参照) をタッチして水抜きを停止し、C のバルブまたは栓が開いていることを確認後、再度手順 1 より実施してください。
- 給水配管接続口の D ストレーナをマイナスドライバーまたはコインで反時計回りに回転させて、取り外す
- D ストレーナの目詰まりを掃除し、元の場所に取り付ける
- タンク排水配管よりお湯 (水) が出なくなったら、B 排水栓を閉め、C タンク排水バルブを閉じる

# 貯水タンクの洗浄をする

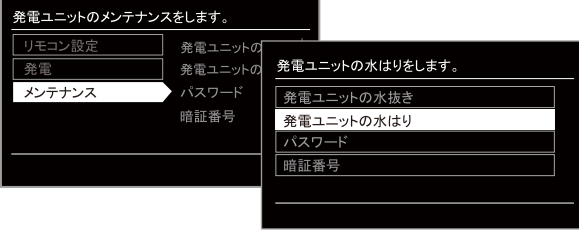
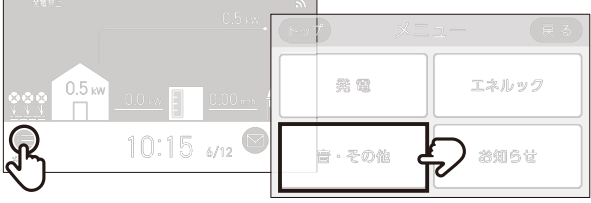
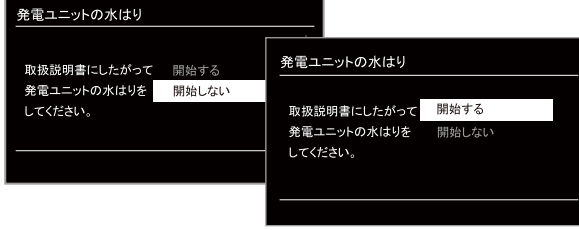
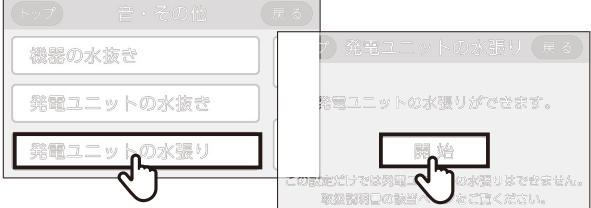
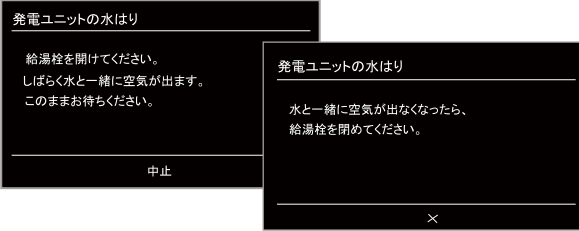
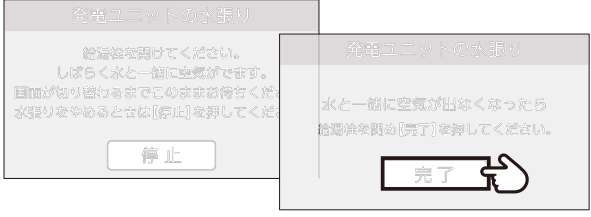
## 水張り手順

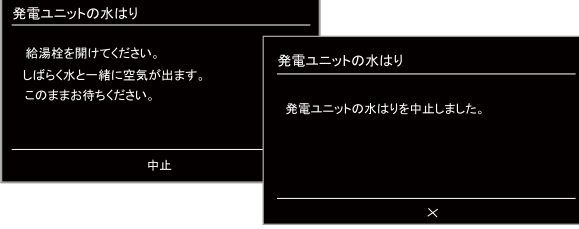
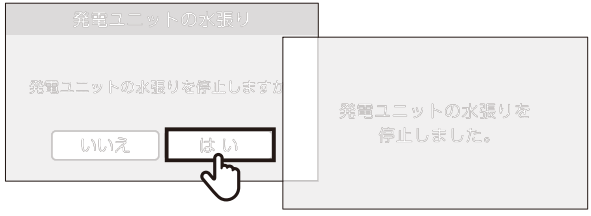
手順	リモコン A	リモコン B
1.	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、 (「ON/OFF」スイッチ部の LED ランプを消す) 液晶画面部をタッチする	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、 (「ON/OFF」スイッチ部の LED ランプを消す) 液晶画面部をタッチする
2.	トップ画面より [メニュー] → [音・その他] を タッチする 	トップ画面より [メニュー] → [メンテナンス] を タッチする 
3.	音・その他画面より [発電ユニットの水張り] → [開始] を タッチする 	メンテナンス画面より [発電ユニットの水張り] → [開始] を タッチする 
4.	「フロント R 小パネルの取り外し方法」(16 ページ) を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを 外した後、発電ユニットの給水口バルブ・熱源機メンテナンス用バルブを開ける (12 ページ参照)	「フロント R 小パネルの取り外し方法」(16 ページ) を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを 外した後、発電ユニットの給水口バルブ・熱源機メンテナンス用バルブを開ける (12 ページ参照)
5.	屋内の給湯栓を開ける。給湯栓から空気が出なくな ったら、給湯栓を閉めてから、[完了] をタッチ する ※ 給湯栓・・屋内の給湯蛇口です。 	屋内の給湯栓を開ける。給湯栓から空気が出なくな ったら、給湯栓を閉めてから、[確認] をタッチ する ※ 給湯栓・・屋内の給湯蛇口です。 
6.	「フロント R 小パネルの取り付け方法」(16 ページ) を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネル を取り付ける	「フロント R 小パネルの取り付け方法」(16 ページ) を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネル を取り付ける

途中で 停止する 場合	屋内の給湯栓を閉めてから、手順 5 画面の [停止] をタッチし、下面の [はい] をタッチする ※ [いいえ] をタッチすると前の画面に戻ります。 	屋内の給湯栓を閉めてから、[中止] をタッチす る 
-------------------	---	--

※ 水張りを途中で停止した場合は、再度手順 1 から実施してください。

# 貯水タンクの洗浄をする

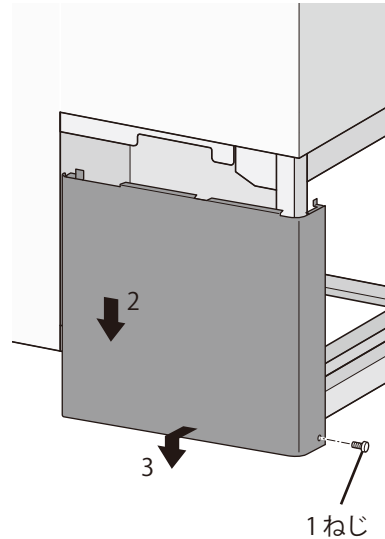
手順	リモコンC	発電リモコン
1.	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、 (「ON/OFF」スイッチを消灯させる) 「MENU」スイッチを押す	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」、または 液晶画面部をタッチする
2.	へまたは▽で[メンテナンス]を選択し、または 「決定」を押し、その後へまたは▽で[発電ユ ニットの水はり]を選択し、または「OK」を押す  	トップ画面より[メニュー]→[音・その他]を タッチする  
3.	へを押して「OK」を押す  	音・その他画面より[発電ユニットの水張り]→[ 開始]をタッチする  
4.	「フロント R 小パネルの取り外し方法」(16 ページ)を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを 外した後、発電ユニットの給水口バルブ・熱源機メンテナンス用バルブを開ける (12 ページ参照)	「フロント R 小パネルの取り外し方法」(16 ページ)を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネルを 外した後、発電ユニットの給水口バルブ・熱源機メンテナンス用バルブを開ける (12 ページ参照)
5.	屋内の給湯栓を開ける。給湯栓から空気が出なくな ったら、給湯栓を閉めてから、「OK」を押す ※ 給湯栓・・屋内の給湯蛇口です。  	熱源機の給湯スイッチを「OFF」にし、屋内の給 湯栓を開ける。給湯栓から空気が出なくなったら、 給湯栓を閉めてから、[完了]をタッチする ※ 給湯栓・・屋内の給湯蛇口です。  
6.	「フロント R 小パネルの取り付け方法」(16 ページ)を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネル を取り付ける	「フロント R 小パネルの取り付け方法」(16 ページ)を参照し、発電ユニットのフロント R 小パネル を取り付ける

途中で 停止する 場合	屋内の給湯栓を閉めてから、画面「中止」下のス イッチを押す  	屋内の給湯栓を閉めてから、手順5画面の[停止 ]をタッチし、下画面で[はい]をタッチする ※ [いいえ] ボタンを押すと前の画面に戻ります。  
-------------------	---	--

# ご使用前の確認

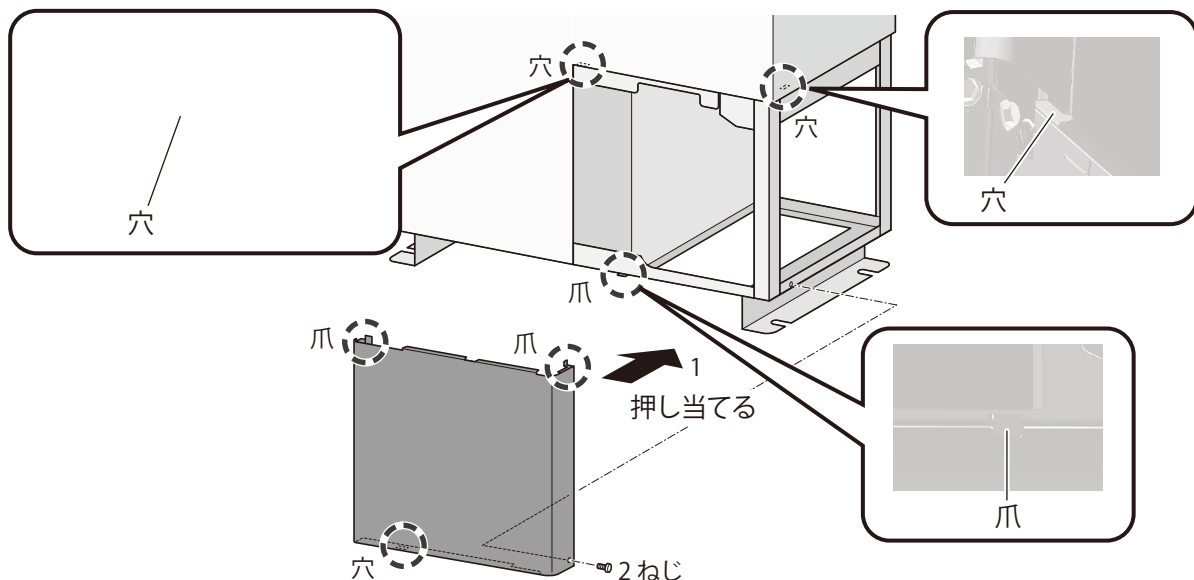
## ■ フロント R 小パネルの取り外し方法

1. フロント R 小パネル右側面下のねじを外す
2. フロント R 小パネルを下に数 mm スライドさせる
3. フロント R 小パネルの下端を手前に寄せながら下方向にスライドさせて取り外す



## ■ フロント R 小パネルの取り付け方法

1. 爪 (3箇所) をそれぞれの穴に差し込み、フロント R 小パネルを下から持ち上げながら取り付ける
2. フロント R 小パネル右側面下のねじを取り付ける



## お願い

爪 (3箇所) がそれぞれの穴に差し込まれていることを確認してください。

# エラー発生時の処理方法

## お願い

- ・お客さま自身で部品の点検・調整はしないでください。
- ・機器の異常に気付いたときは、販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。

## ■ エラー発生時の処置方法について

- ・リモコンにエラーコード 5 桁を表示します。  
エラーコードの表示が 3 桁の場合は熱源機側の不具合です。熱源機の取扱説明書を参照してください。
- ・リモコンに次ページのエラーコードが表示された場合、処置方法に従い処置を行ってください。
- ・17、18 ページ以外のエラーコードについては、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

## ■ エラーリセット（異常解除）の方法

「ON/OFF」スイッチを一度「OFF」にしてから、再度押して「ON」にします。

※エラー発報時は停止工程に約 10～12 時間かかります。

エラーをリセットしても、停止工程が終了するまで再起動しません。

表示	故障内容	原因	処置方法
01900	ガスマイコンメーター内管漏えい警報防止（後付構成では発生しないエラーです）	機器の異常ではありません。発電ユニットが「ガスマイコンメーター確認マーク」を表示して停止中に、熱源機のガス使用が継続し、ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認できなかった場合に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのガス機器（暖房を含む）を連続で 70 分間以上停止してください。<sup>*1</sup>ただし、機器が凍結予防動作などを行った場合、この表示が消えないことがあります。その場合はさらに連続で 70 分間以上ガス機器を停止してください。作業を実施しても表示が消えない場合は、販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。</li> <li>・床暖房の長時間使用により頻繁に [01900] が表示される場合は、給湯や浴室暖房乾燥機などガス機器を使用しない時間帯に、床暖房リモコン等のタイマー設定により床暖房を 70 分以上停止する時間帯を設定ください。</li> </ul>
01F00	通常停止回数警告	起動停止の回数が多すぎます。	このまま使用を継続されますと、故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外となる場合がありますので、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
01F01	シャットダウン回数警告		
03F00	ホットモジュール起動許可条件成立待ち	発電ユニットが高温であるため起動できません。	冷却されるまでお待ちください。（約 10～12 時間（時間は気温によって異なります））

\*1 70 分間は以下の表示を目安としてください。

- ・リモコン A の場合： → 
- ・リモコン B の場合： → 
- ・リモコン C の場合： → 

# エラー発生時の処理方法

表示	故障内容	原因	処置方法
03F06	水抜き状態時起動警告	水抜き、水張りが中止された状態で発電ユニットの起動操作が実施された。	発電禁止操作を行い、エラーをリセットし、水張りを実施後、発電ユニットを起動してください。参照ページは下記となります。 (6、17、14、8ページ)
05F00	メンテナンス時間超過	定期交換部品の交換が必要です。	販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
05F03	可燃ガスセンサー		
05F04	時間超過		
08F00	自立運転保護動作	電力使用量が少ないため、保護停止しています。	給湯および電力使用量が 350W 以上必要です。
10F00	可燃ガスセンサー 1	発電ユニット内部でガス漏れが発生した場合、もしくは発電ユニット外部から自動車の排気ガスなどの可燃性ガスが流入した場合に、ガスを検知して停止しています。	ガス供給を遮断していますが念のため発電ユニット専用ガス栓を閉じて、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
10F10	ガス漏れ異常		
10F01	可燃ガスセンサー 2		
10F11	ガス漏れ異常		
19F00	漏電・過電流ブレーカー保護動作	主幹ブレーカーが ON の状態で発電ユニット専用ブレーカーを OFF した可能性があります。	エラーをリセット (17 ページ参照) してください。原因に該当しない場合は、大阪ガスにご連絡ください。
769	通信異常 (熱源機のエラー)	発電ユニット専用ブレーカーが OFF になっている可能性があります。	発電ユニット専用ブレーカー (21 ページ参照) を ON し、エラーをリセット (86 ページ参照) してください。発電ユニット専用ブレーカー ON でも再発する場合は、大阪ガスにご連絡ください。
82F01	排熱回収水出口温度高温異常	断水している可能性があります。	発電禁止操作を実施後に、エラーをリセット (17 ページ参照) してください。給水されていることを確認後、発電ユニットの水張り操作を実施してください。水張り完了後、「発電禁止からの再開」を実施してください。再発する場合は、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
A0F00	原燃料供給圧低または原燃料流量計故障	ガス栓が閉まっているか、ガスマイコンメーターが遮断されています。	ガス栓が閉まっている場合は、ガス栓を開けてください。 ガスマイコンメーターが遮断している場合は、ガスマイコンメーターを復帰させてから、リモコンでエラーをリセットしてください。 操作方法がわからない場合はガス供給事業者までご連絡ください。
E0F00	商用電流検出異常 (誤配線)	購入電力の検出に異常がある可能性があります。	販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
E4F00	商用電流検出異常		
F9F00	逆潮流検出		

- DC 以下のエラーコードが表示された場合は、蓄電池ユニットの不具合の可能性があります。  
 08F03 C7F28 C7F29 C7F30 C7F 31 C7F32 E5F00 E5F01 B3F01

# エラー表示

発電ユニットに不具合が生じたとき、熱源機のリモコンにエラーコード[ \*\* F \*\* ]が表示されます。

発電ユニットのエラーコード一覧 (1 / 2)

表示	故障内容	表示	故障内容
01F00	通常停止回数警告	50F01	停止時原燃料流量異常
01F01	シャットダウン回数警告	52F02	エア流量異常
01F02	省エネ性低下検出	53F00	給湯混合弁原点復帰異常
02F00	通常停止回数警告 (起動禁止)	55F00	可燃ガスセンサー 1 異常
02F01	シャットダウン回数警告 (起動禁止)	55F01	可燃ガスセンサー 2 異常
03F00	ホットモジュール起動許可条件成立待ち	52F10	可燃ガスセンサー 1 異常
03F01	スタック保護待機状態	55F11	可燃ガスセンサー 2 異常
03F06	水抜き状態時起動警告	57F01	伝導度上限異常または水位センサー短絡故障
03F07	改質水水量保護動作中	59F00	燃焼触媒故障
03F08	エア流量計フィルタ詰まり解消動作	60F00	原燃料流量偏差異常
05F00	メンテナンス時間超過 1	60F01	原燃料ガスプロア DUTY 上限異常
05F03	可燃ガスセンサー時間超過	61F00	エア流量偏差異常
05F04	可燃ガスセンサー時間超過	61F01	エアプロア故障
08F00	自立運転保護動作	62F00	改質水ポンプ故障
08F02	水不足による保護停止	63F00	フロートスイッチ断線故障
08F03	自立時過負荷検出	63F01	フロートスイッチ短絡故障
10F00	可燃ガスセンサー1 ガス漏れ異常	64F00	排熱回収水ポンプ故障
10F01	可燃ガスセンサー2 ガス漏れ異常	66F00	改質水補給異常
10F10	可燃ガスセンサー1 ガス漏れ異常	67F00	水位異常または水位センサー短絡故障
10F11	可燃ガスセンサー2 ガス漏れ異常	67F01	水位センサー断線故障
11F00	着火異常	67F04	改質水ライン水張り異常
12F00	燃焼部 #1 失火異常	68F00	原燃料入口電磁弁駆動回路異常
12F01	燃焼部 #2 失火異常	68F01	原燃料入口電磁弁異常
12F04	失火による出力異常	70F00	インバーター通信異常
12F05	失火継続異常	70F01	インバーター連系パラメーター受信異常
15F00	起動異常	72F01	給湯器ラインまたはインバーター異常
17F00	温度ヒューズ作動	72F03	自立出力リレー固着警告
19F00	漏電・過電流ブレーカー保護動作	72F04	自立出力リレー固着異常
20F00	冷却ファン故障	72F05	給湯器電源リレー系統側固着警告
30F00	改質入口温度センサー故障	72F06	給湯器電源リレー系統側固着異常
30F01	改質入口温度高温異常	74F00	フラッシュメモリ故障
30F02	改質入口温度低温異常	76F00	セット構成給湯器通信異常
30F03	改質入口温度センサー不定故障	76F01	後付構成用発電連係リモコン通信異常
42F00	モジュール温度センサー故障	76F02	リモコンアンマッチ
42F01	モジュール温度高温異常	76F03	リモコン電源電圧低下異常
42F02	モジュール温度低温異常	77F00	改質水ポンプ駆動回路異常
42F04	モジュール温度センサー不定故障	77F02	制御装置可燃ガスセンサー増幅回路異常
43F00	燃焼排ガス温度センサー故障	77F03	制御装置 LP ガスセンサー増幅回路異常
43F01	燃焼排ガス温度高温異常	77F04	制御装置パラメーター破損異常
43F02	燃焼排ガス温度低温異常	77F05	FC メンテデータ差異異常
47F00	還流ガス温度センサー異常	77F06	FC パラメーター差異異常
47F02	還流ガス温度低温異常	77F08	原燃料流量計通信異常

# エラー表示

発電ユニットのエラーコード一覧 (2 / 2)

表示	故障内容	表示	故障内容
77F09	カソード エア流量計通信異常	C7F02	連系リレー故障
77F10	原燃料流量計測値フリーズ異常	C7F04	24V 補機電源電圧上限異常
77F11	カソード エア流量計測値フリーズ異常	C7F05	24V 補機電源電圧下限異常
78F15	直流ヒーター過電流警告	C7F06	24V 補機電源通電警告
79F00	コントローラスイッチ部短絡故障	C7F07	2.5V 補機電源電圧上限異常
80F00	排熱回収水入口温度センサー故障	C7F08	2.5V 補機電源電圧下限異常
80F01	排熱回収水入口温度高温異常	C7F12	5V 補機電源電圧上限異常
82F00	排熱回収水出口温度センサー故障	C7F13	5V 補機電源電圧下限異常
82F01	排熱回収水出口温度高温異常	C7F14	スタック電流通信異常
82F02	排熱回収水出口温度低温異常	C7F15	商用電流回路異常
82F04	排気熱交換器故障または排熱回収水出口温度センサー不定故障	C7F17	インバーターソフトバージョン異常
83F00	補機室上部温度センサー故障	C7F23	自立周波数不確定異常
83F01	補機室上部温度高温異常	C7F25	自立構成異常
85F00	水道水温度センサー故障	C7F26	自立発電電圧不安定異常
86F00	混合湯温度センサー故障	C7F27	自立発電電圧不安定警告
86F01	混合湯温度高温異常	C7F28	自立出力準備中シーケンス異常
86F02	水道水温度センサー／混合湯温度センサー精度異常	C7F29	DC 出力機 DC 出力電流検出回路異常
88F00	自立ヒーター温度センサー故障	C7F30	DC 出力機 地絡電流検出回路異常
88F01	自立ヒーター上部温度高温異常	C7F31	DC 出力機 地絡電流異常
88F02	自立ヒーター上部温度高温警告	C7F32	DC 出力機 DC 出力不足電圧異常
93F00	停止時間タイムアウト	C9F00	インバーター入力過電流
95F00	改質水タンク水量不足またはフロートスイッチ故障	E0F00	商用電流検出異常 (誤配線)
A0F00	原燃料供給圧低下または原燃料流量計故障	E1F00	CT 自動補正不能
B0F00	ホットモジュール高温状態検出	E1F01	CT 誤取り付け警告
B0F02	改質触媒高温状態	E1F02	CT 自動検出時電力不足異常
B1F02	水張り時エア抜き警告	E4F00	商用電流検出異常
B1F03	排熱回収水ライン水なし異常	E5F00	DC 出力機 自立時過負荷検出異常
B3F01	DC 出力機 蓄電池機種未設定警告	E5F01	DC 出力機 停電検出用ライン誤配線 またはハイブリッドパワコン電源 OFF 異常
B4F01	点火ヒーター連続通電時間オーバー	E7F00	N 相過電流異常
B4F03	排熱回収水ライン凍結防止ヒーター空焚き異常		N 相過電流異常
B6F00	パソコン通信異常	F1F00	系統不足電圧警告
B8F00	改質水タンク水なし状態検出	F2F00	系統周波数上昇警告
C0F00	スタックトータル電圧低下	F3F00	系統周波数下降警告
C0F02	コンバーター過電流警告	F4F00	単独運転受動方式検出
C0F03	直流リンク過電圧警告	F5F00	単独運転能動方式検出
C2F00	スタックトータル電圧未確立	F6F00	系統瞬時過電圧
C4F00	直流不足電圧検出	F7F00	直流過電圧検出
C5F01	インバーター DC/DC 部温度高温異常	F7F01	リンク不足電圧検出
C5F02	インバーター DC/AC 部温度高温異常	F7F02	リンク過電圧検出
C5F03	インバーター低温警告	F7F03	出力電流直流分流出検出
C5F04	インバーター高温異常	F7F05	インバーター側通信異常
C6F01	EEPROM 異常	F7F06	瞬時過電流
C7F00	ハードウェア故障	F9F00	逆潮流検出
C7F01	インバーター温度センサー故障	01900	ガスマイコンメーター内管漏えい警報防止

大阪ガス株式会社

大阪府中央区平野町 4-1-2  
TEL フリーダイヤル 0120-000-555  
(お客さまセンター)